

## 質 疑 回 答 書 ( 工 事 )

関係者 各位

宮崎市 建設部 道路維持課長  
(公印省略)

工 事 名 高松橋改修工事 (9工区但し連続化工)

工事場所 宮崎市鶴島三丁目外

下記のとおり回答いたします。

質 疑 事 項	回 答
外ケーブルを桁内に引き込む方法が不明確であり、外ケーブルとターンテーブルの合計重量が約2トンになることから、積算上の吊り足場での施工は難しいと思われます。そのため、橋梁上面などに施工用の開口が必要になるかと存じます。変更協議の対象として頂けますでしょうか。	ターンテーブルは橋面に配置し、ケーブルを桁内に引き込む方法を想定しています。
緊張ジャッキ (240kg) と緊張ポンプ (外形 600mm) は、桁内への搬入ができないため、施工開口が必要となりますので、上記と同様変更協議対象として頂けますでしょうか。	P2、P5 橋脚部への搬入は桁下面の開口から可能と判断しています。P3、P4 橋脚部へはジャッキの搬入は可能と判断し、ポンプは橋面に配置を想定しています。
主桁ひび割れ注入工について、調査が平成30年以前に実施されたとのことですが、経年による変化が考えられます。再調査は必要ないでしょうか。再調査の結果数量に相違があった場合、設計変更の対象として頂けますでしょうか。	令和6年度に実施した橋梁点検結果を数量に反映しているが、数量に相違があった場合は、宮崎市の設計変更ガイドラインに基づき対応いたします。
全面通行止め、一部通行止めに関する機材損料と設置・撤去費用についてお伺いしたいのですが、これらの費用は別途計上して頂けますでしょうか。	宮崎市の設計変更ガイドラインに基づき対応いたします。

質 疑 事 項	回 答
<p>ヒンジ部間詰部のブラスト処理が不要という回答について、質問がございました。まず、その判断基準を教えてくださいませんか？</p> <p>また、設置されている支承部材の劣化、コケの発生、経年によるコンクリート表面の劣化などが見られる場合、ブラスト処理の必要性に関する判断はどのようになりますでしょうか？</p>	<p>間詰後、緊張を掛けるため、新旧コンクリートの付着を確保する必要はないと判断して不要と考えます。</p> <p>間詰前のヒンジ部の清掃は必要と考えますが、ブラスト等の処理が必要と判断された場合は、宮崎市の設計変更ガイドラインに基づき対応いたします。</p>
<p>吊足場の面積について、通常は径間長×(幅+α)で計算されると認識しております。図面を拝見したところ、一部控除されている箇所が見受けられますのでご確認頂きご教示願います。</p>	<p>桁下面での作業が生じない範囲については、必要ないと判断し、桁側面のみ足場を計上しています。</p>
<p>外ケーブルの緊張機材等の損料が計上されておりましたので、変更協議とさせていただきますでしょうか。</p>	<p>緊張ジャッキ・ポンプの損料は計上しておりますが、その他損料等が必要と判断された場合は、宮崎市の設計変更ガイドラインに基づき対応いたします。</p>
<p>歩車道境界地覆について、ヒンジ部伸縮装置撤去後の地覆の構築が計上されておられませんので変更協議として頂けますでしょうか。</p>	<p>本工事において、地覆の再構築は必要ないため計上しておりません。</p>

(担当者：道路維持課 黒木)